

京都府の医療費等の現状について

都道府県別の医療費水準（年齢調整後の医療費指数）の推移について

※医療費の全国平均値を1.0としたときの指数（p1、p2）

H28～H30

	最大市町村	最小市町村	格差
1	1.452	0.630	2.30倍
2	1.611	0.700	2.30倍
3	1.595	0.713	2.24倍
4	1.589	0.809	1.96倍
5	1.266	0.692	1.83倍
6	1.390	0.822	1.69倍
7	1.292	0.777	1.66倍
8	1.294	0.782	1.65倍
9	1.334	0.811	1.64倍
10	1.369	0.841	1.63倍
11	1.420	0.891	1.59倍
12	1.139	0.735	1.55倍
13	1.221	0.790	1.55倍
14	1.282	0.845	1.52倍
15	1.203	0.793	1.52倍
16	1.115	0.736	1.51倍
17	1.282	0.879	1.46倍
18	1.274	0.879	1.45倍
19	1.300	0.942	1.38倍
20	1.336	0.969	1.38倍
21	1.210	0.879	1.38倍
22	1.155	0.844	1.37倍
23	1.209	0.884	1.37倍
24	1.238	0.911	1.36倍
25	1.106	0.816	1.36倍
26	1.266	0.935	1.35倍
27	1.175	0.902	1.30倍
28	1.199	0.927	1.29倍
29	1.154	0.895	1.29倍
30	1.055	0.819	1.29倍
31	1.084	0.845	1.28倍
32	1.388	1.090	1.27倍
京都府	1.171	0.923	1.27倍
34	1.028	0.812	1.27倍
35	1.231	0.978	1.26倍
36	1.010	0.803	1.26倍
37	1.035	0.824	1.26倍
38	0.960	0.773	1.24倍
39	1.140	0.920	1.24倍
40	1.212	0.982	1.23倍
41	1.127	0.930	1.21倍
42	1.154	0.955	1.21倍
43	0.965	0.808	1.19倍
44	1.100	0.923	1.19倍
45	1.042	0.883	1.18倍
46	0.996	0.851	1.17倍
47	1.206	1.049	1.15倍

← 近畿6府県
では4番目

H29～R1

	最大市町村	最小市町村	格差
1	1.532	0.682	2.25倍
2	1.129	0.574	1.97倍
3	1.536	0.797	1.93倍
4	1.244	0.670	1.86倍
5	1.562	0.847	1.84倍
6	1.459	0.833	1.75倍
7	1.369	0.811	1.69倍
8	1.457	0.872	1.67倍
9	1.309	0.793	1.65倍
10	1.258	0.763	1.65倍
11	1.267	0.774	1.64倍
12	1.368	0.839	1.63倍
13	1.123	0.699	1.61倍
14	1.367	0.873	1.57倍
15	1.301	0.887	1.47倍
16	1.185	0.813	1.46倍
17	1.255	0.864	1.45倍
18	1.132	0.788	1.44倍
19	1.261	0.899	1.40倍
20	1.070	0.763	1.40倍
21	1.375	0.983	1.40倍
22	1.078	0.779	1.38倍
23	1.030	0.766	1.34倍
24	1.201	0.905	1.33倍
25	1.145	0.868	1.32倍
26	1.076	0.816	1.32倍
27	1.136	0.879	1.29倍
28	1.217	0.944	1.29倍
29	1.180	0.916	1.29倍
30	1.075	0.843	1.28倍
31	1.193	0.937	1.27倍
32	1.032	0.811	1.27倍
33	1.048	0.826	1.27倍
34	1.114	0.883	1.26倍
35	1.196	0.952	1.26倍
36	1.120	0.892	1.26倍
37	1.172	0.934	1.25倍
38	1.377	1.101	1.25倍
39	1.058	0.850	1.24倍
40	1.130	0.915	1.23倍
41	1.190	0.964	1.23倍
京都府	1.099	0.897	1.23倍
43	0.976	0.797	1.22倍
44	0.971	0.802	1.21倍
45	1.069	0.893	1.20倍
46	1.239	1.066	1.16倍
47	1.209	1.096	1.10倍

← 近畿6府県
では6番目

H30～R2

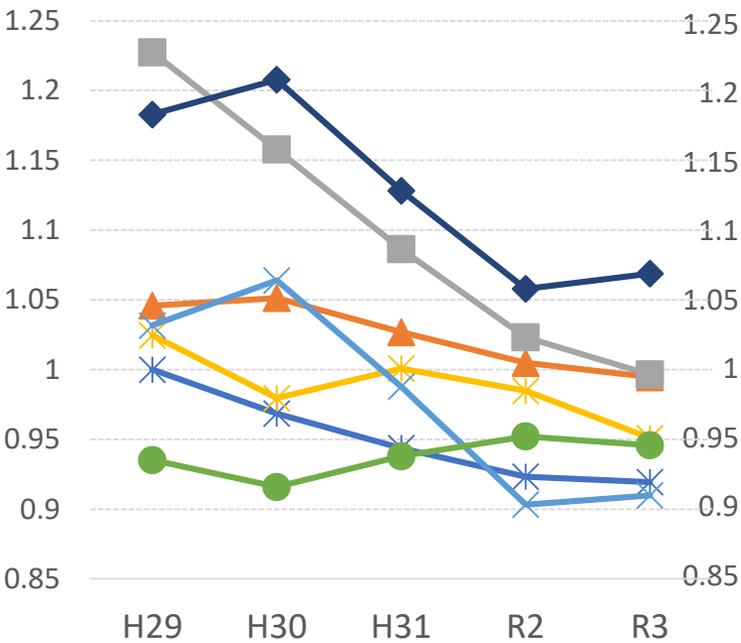
	最大市町村	最小市町村	格差
1	1.431	0.625	2.29倍
2	1.590	0.739	2.15倍
3	1.325	0.648	2.04倍
4	1.503	0.818	1.84倍
5	1.082	0.589	1.84倍
6	1.419	0.799	1.78倍
7	1.503	0.865	1.74倍
8	1.062	0.628	1.69倍
9	1.204	0.712	1.69倍
10	1.316	0.780	1.69倍
11	1.273	0.763	1.67倍
12	1.261	0.774	1.63倍
13	1.377	0.860	1.60倍
14	1.393	0.901	1.55倍
15	1.161	0.768	1.51倍
16	1.204	0.825	1.46倍
17	1.261	0.875	1.44倍
18	1.257	0.882	1.43倍
19	1.104	0.784	1.41倍
20	1.368	0.991	1.38倍
21	1.067	0.787	1.36倍
22	1.202	0.889	1.35倍
23	1.134	0.841	1.35倍
24	1.040	0.779	1.34倍
25	1.170	0.887	1.32倍
26	1.062	0.807	1.32倍
27	1.250	0.952	1.31倍
28	1.183	0.904	1.31倍
29	1.065	0.814	1.31倍
30	1.058	0.817	1.29倍
31	1.222	0.944	1.29倍
32	1.374	1.069	1.29倍
33	1.122	0.873	1.29倍
34	1.215	0.947	1.28倍
35	1.115	0.879	1.27倍
36	1.038	0.821	1.26倍
37	1.113	0.882	1.26倍
38	1.199	0.957	1.25倍
39	1.166	0.946	1.23倍
40	0.987	0.803	1.23倍
41	1.186	0.969	1.22倍
42	1.258	1.046	1.20倍
43	0.948	0.792	1.20倍
京都府	1.074	0.905	1.19倍
45	1.079	0.923	1.17倍
46	1.242	1.101	1.13倍
47	1.010	0.907	1.11倍

← 近畿6府県
では5番目

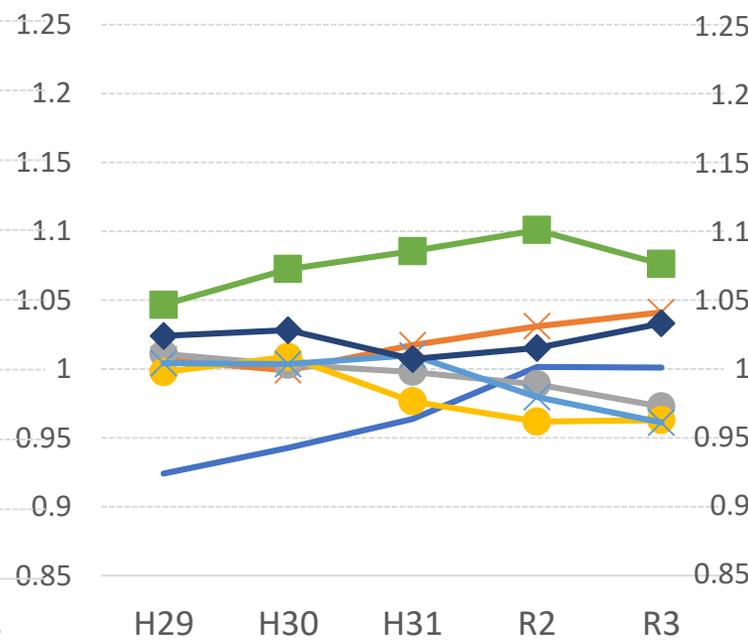
被保険者数の規模別の医療費指数の比較

- 規模が小さい保険者ほど医療費指数が変動しやすい傾向にある
- 高額医療費等の発生は、後年度に保険料（税）の上昇リスクがあるため、小規模保険者の財政運営に与える影響が大きい

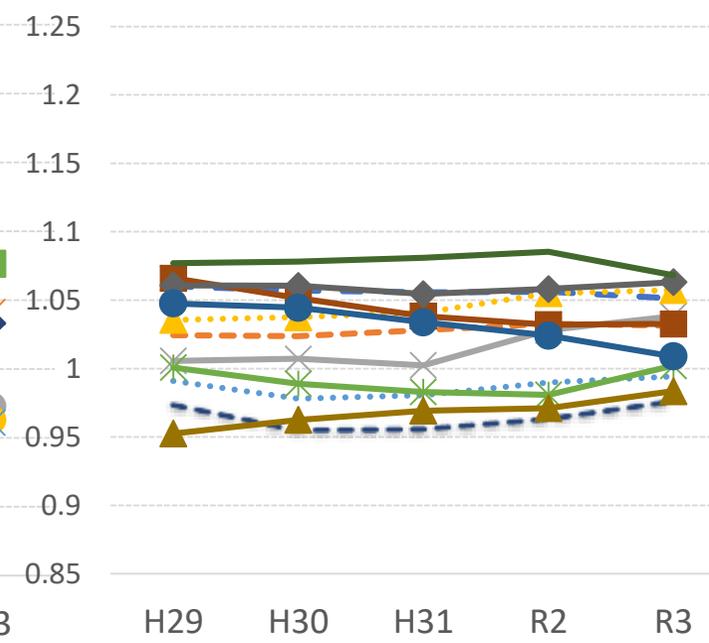
被保険者数3,000人未満の
町村の医療費指数



被保険者数3,000人以上10,000人未満
の市町の医療費指数



被保険者数10,000人以上の
市の医療費指数



※医療費指数：年齢構成の差異を調整し、3年分の平均値。納付金の算定の際に使用。

府内の年齢調整後の医療費指数（3箇年平均（R2～R4））

※医療費の京都府平均値を1.0としたときの市町村ごとの指数

A	0.892
B	0.898
C	0.913
D	0.922
E	0.929
F	0.930
G	0.945
H	0.948
I	0.957
J	0.958
K	0.959
L	0.962
M	0.976
N	0.981
O	0.994
P	0.994
Q	1.006
R	1.010
S	1.010
T	1.011
U	1.014
V	1.015
W	1.016
X	1.017
Y	1.033
Z	1.199

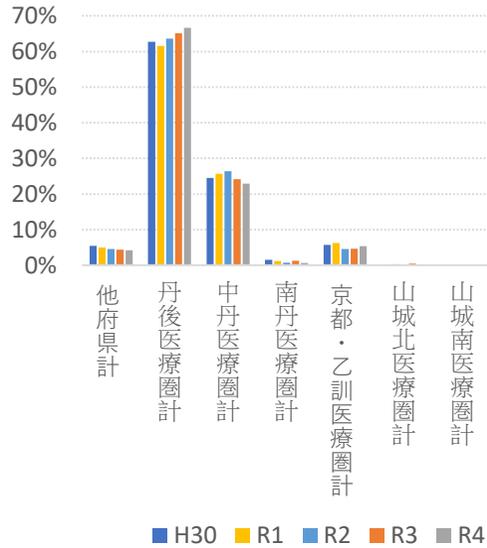
※医療費＝診療費（入院、入院外、歯科）＋調剤＋食事・生活療養＋訪看

※年齢調整後の医療費指数は、市町村の1人当たり医療費を、当該市町村の年齢階級別の1人当たり医療費が府平均であった場合の1人当たり医療費で除したものの3箇年分（R2～R4）を平均したものの。

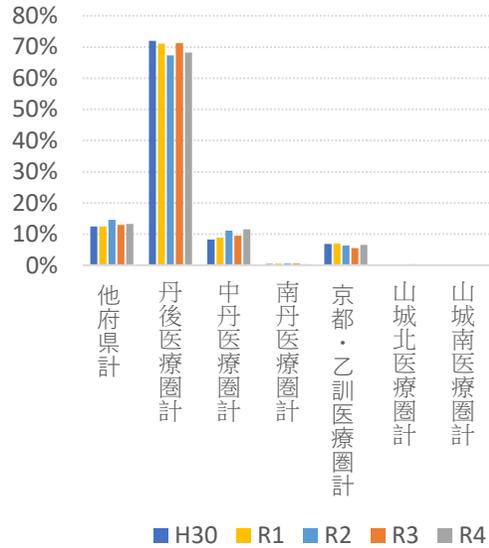
出典：京都府国民健康保険団体連合会提供データをもとに京都府医療保険政策課にて集計

市町村別の受診状況について（H30～R4）①

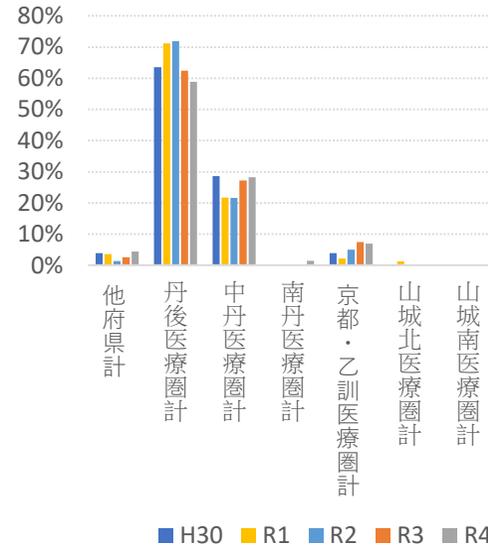
宮津市



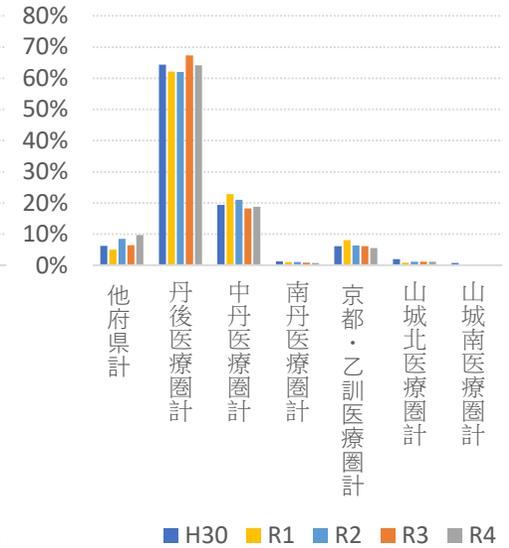
京丹後市



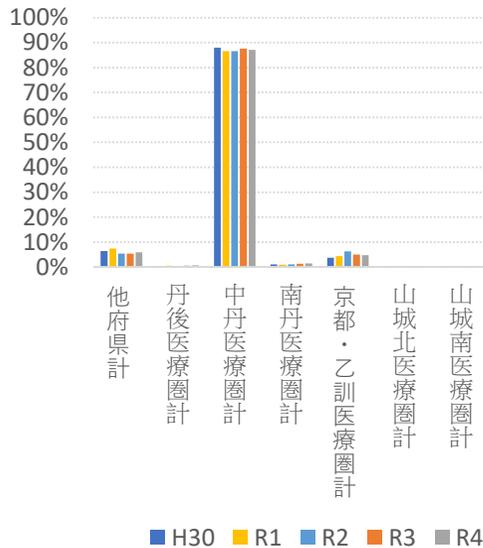
伊根町



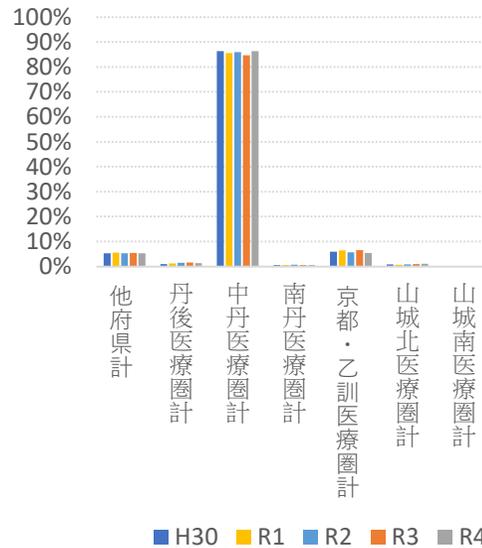
与謝野町



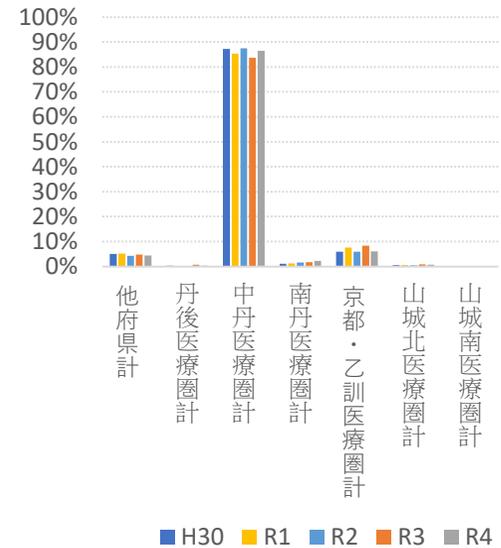
福知山市



舞鶴市

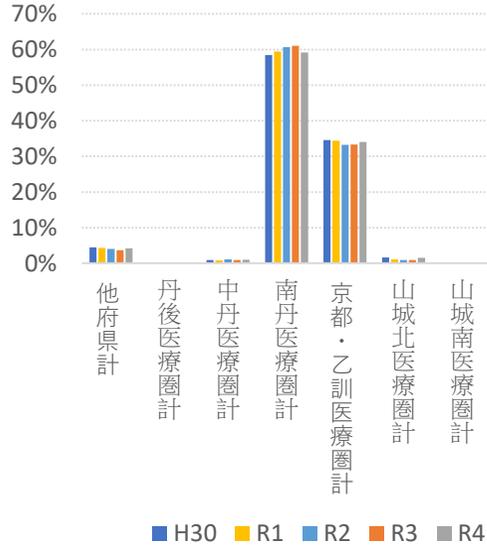


綾部市

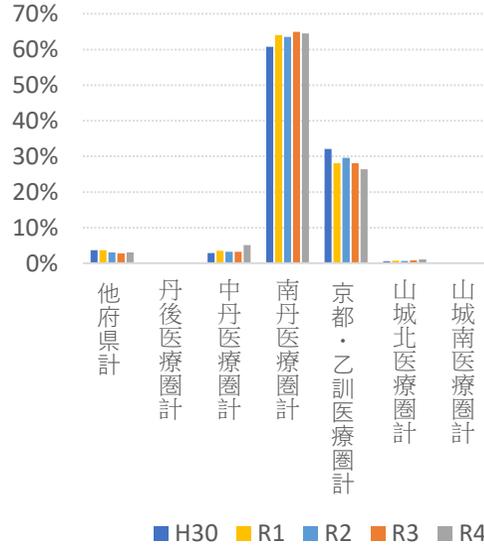


市町村別の受診状況について（H30～R4）②

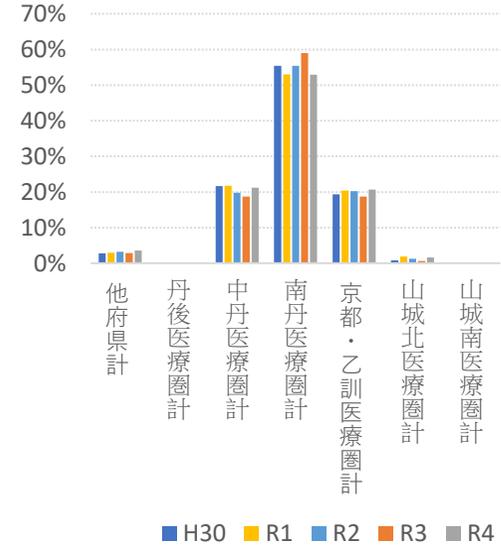
亀岡市



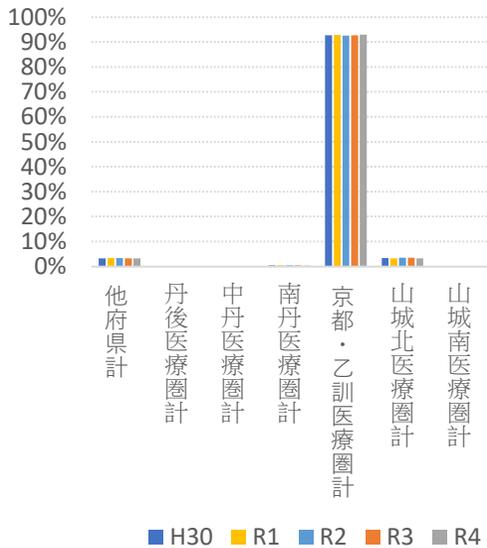
南丹市



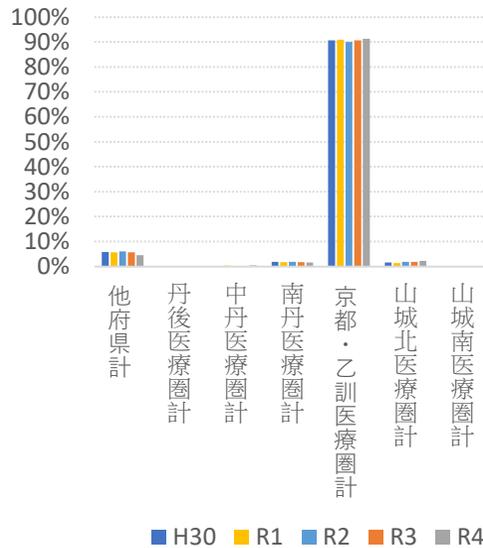
京丹波町



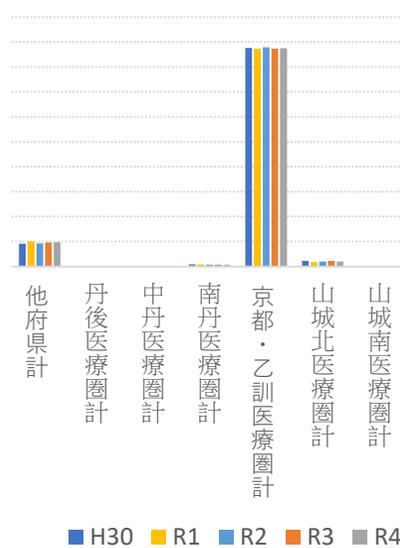
京都市



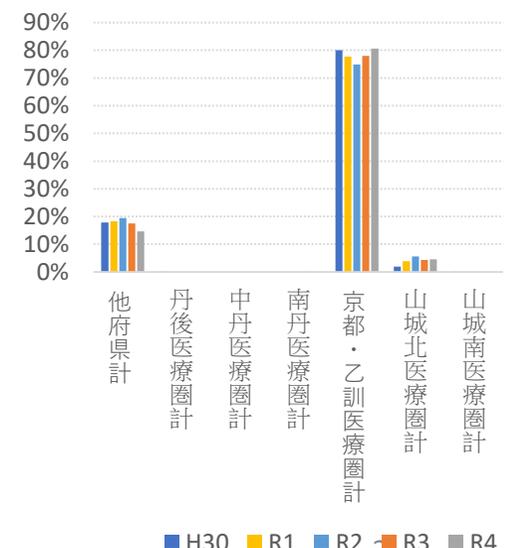
向日市



長岡京市

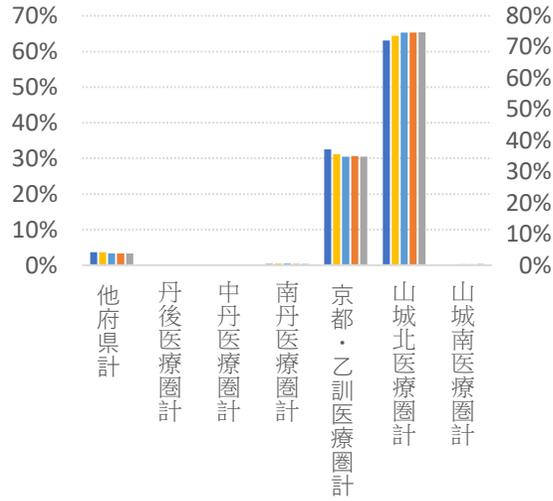


大山崎町



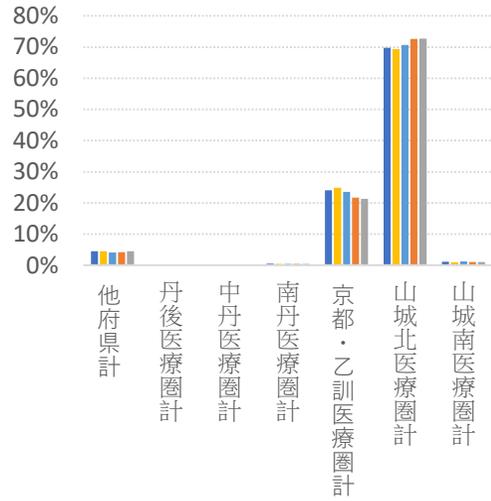
市町村別の受診状況について (H30~R4) ③

宇治市



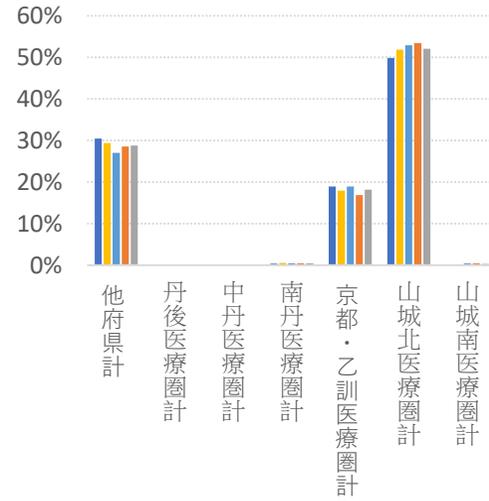
■ H30 ■ R1 ■ R2 ■ R3 ■ R4

城陽市



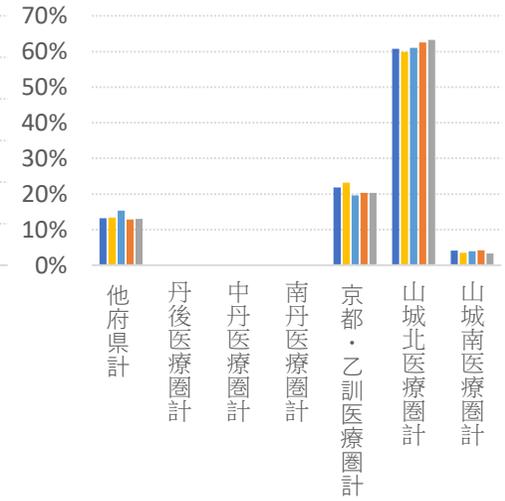
■ H30 ■ R1 ■ R2 ■ R3 ■ R4

八幡市



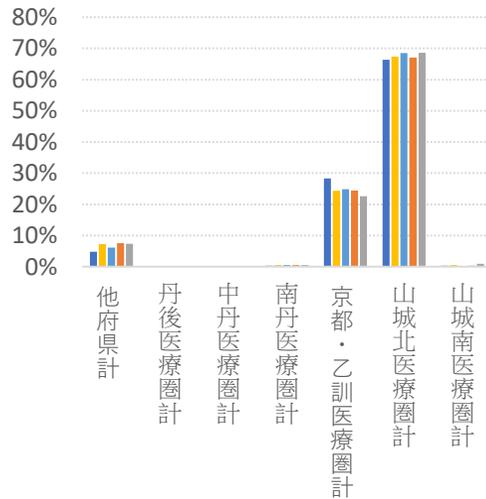
■ H30 ■ R1 ■ R2 ■ R3 ■ R4

京田辺市



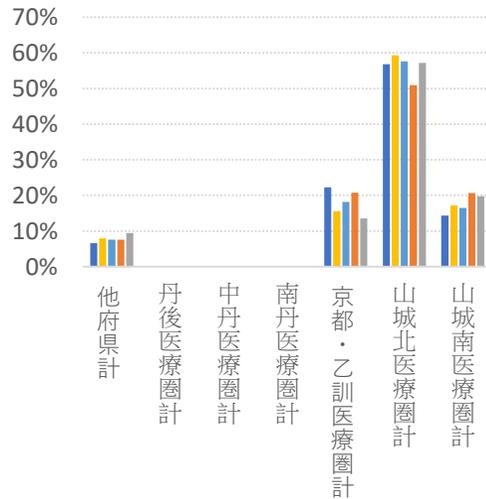
■ H30 ■ R1 ■ R2 ■ R3 ■ R4

久御山町



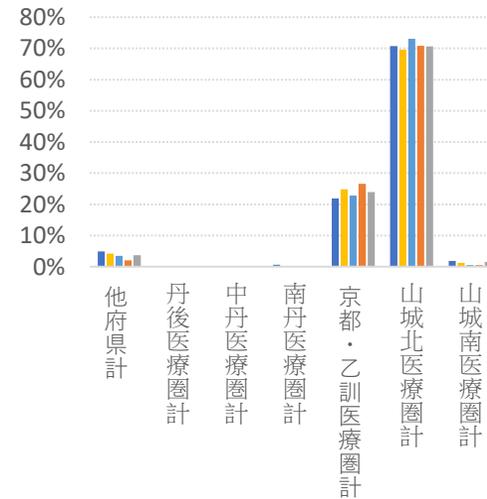
■ H30 ■ R1 ■ R2 ■ R3 ■ R4

井手町



■ H30 ■ R1 ■ R2 ■ R3 ■ R4

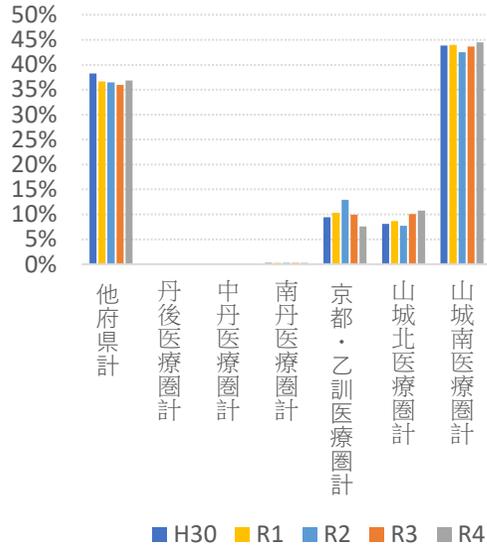
宇治田原町



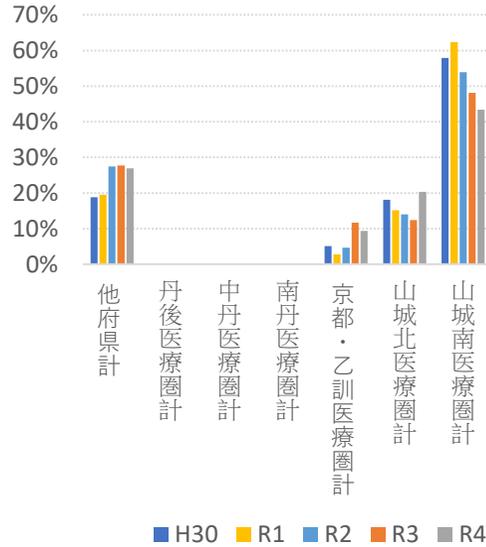
■ H30 ■ R1 ■ R2 ■ R3 ■ R4

市町村別の受診状況について (H30～R4) ④

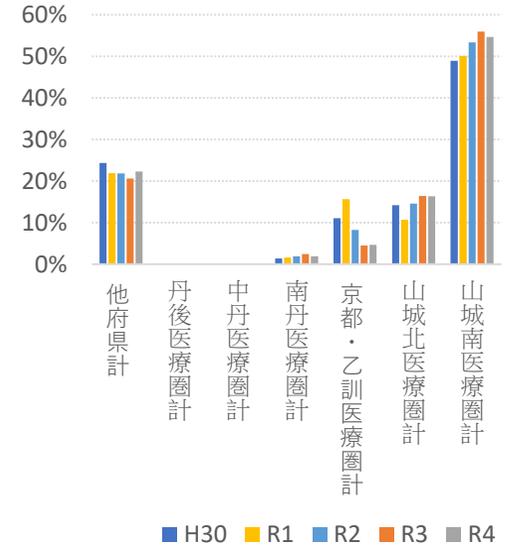
木津川市



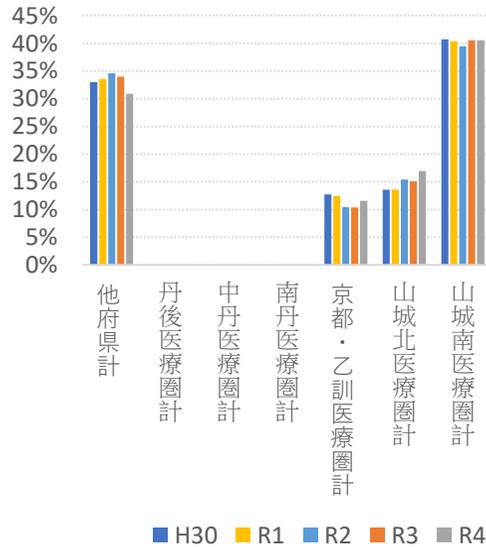
笠置町



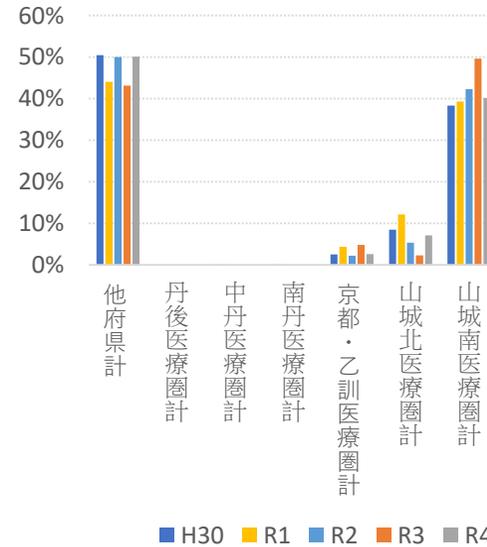
和束町



精華町



南山城村



沖縄県は完全統一見送り

沖縄県では繰上充用も含めた赤字を削減していく、6年度に保険料水準の完全統一をめざす旨を国保運営方針に掲げている。しかし、一部の市町村から合意を得られず、今年2月に市町村長を集めた会議で先送りを決めた。6年度からの次期運営方針策定に向けて市町村と議論を進めている。

北海道、群馬県、埼玉県、長崎県は、現在の国保運営方針に6年度からの納付金ベースの統一（ $\alpha=110$ ）を掲げている。4道県とも6年度からの実施を決めている。

このほか、現行の運営方針では実施時期を明記していない高知県も6年度から $\alpha=110$ とすることを決めた。6年間の激変緩和措置期間を経て、12年度から統一保険料（完全統一）とする。

一方、運営方針に6年度から「市町村ごとの収納率を反映した統一」（準統一）を掲げてきた広島県は一部の市町村からの反対もあり、調整が続いている。